

内日地区まちづくり集会（H25.9.28開催）

内日地区まちづくり集会

◎日 時 平成25年9月28日（土）10:30～12:00

◎場 所 内日公民館

◎出席団体数 18団体

内日自治連合会、内日2町町内会、内日7町町内会、内日小学校PTA、内日中学校PTA、内日幼稚園PTA、内日自治連合会婦人部、内日長寿会、内日地区民生児童委員協議会、内日消防分団、内日子ども会、下関農協内日支所女性部、内日農業委員会、内日地区保健推進委員会、内日を考える青年の会、農事組合法人うついの里、企業組合うつい工房、内日スポーツ振興会

◎市出席者 総合政策部部長：三木潤一、総合政策部政策調整監：星出恒夫
地域支援課主幹：秋枝淳司、主任：齋藤浩三
内日支所支所長：水嶋和行

◎傍聴者 無

◎次第

- | | |
|-----------------------|--------|
| 1 開 会 | 10:30～ |
| 2 部長あいさつ | |
| 3 基本的な推進方向について | 10:35～ |
| ・総合政策部政策調整監から説明 | |
| 4 地域の現状と将来を見据えた課題について | 11:00～ |
| （1）地域課題について | |
| （2）課題解決や活性化などについて | |
| （3）総括 | |
| 5 閉 会 | 12:00 |

◎まちづくり集会の目的

地域の自主性と独自性を活かし、市民と地域と行政がお互いの立場を尊重した本市にふさわしい参加と協働によるまちづくりを実現するため、住民自治による地域分権を推進することとしている。

そのため、様々なまちづくり団体が一堂に会し、基本的な推進方向や身近な地域の課題などについて話し合う「まちづくり集会」の場を提供し、住民自治によるまちづくりの機運を高めることを目的とする。

内日地区まちづくり集会（H25.9.28 開催）

【開催の様子】

9月28日に開催した内日地区まちづくり集会へは、地域づくりなど、地域活性化のための諸活動を自主的・主体的に行っている団体等から18名にご参加いただき、自治連合会長を司会として、内日地区が抱える地域課題、地域の活性化に向けた意見交換などを行いました。



【課題整理結果】

内日地区まちづくり集会の中で、参加者どうしで話し合われた内容を、地域課題とその解決方法とに分け、コンパクトにまとめています。

課題解決や活性化につながる意見は、個人で解決すべきものは自助、地域で解決すべきものは共助、行政が解決すべきものは公助に分けて表示しています。

内日地区まちづくり集会

9月28日

地域課題	個人で解決するもの （自助）	地域で解決するもの （共助）	行政が解決するもの （公助）
まちづくり		地域全体で考える仕組みづくり	地域のまちづくりについて、年代別の意見を聞き、纏める
地域会議へ様々な主体の参加が少ない		他市の事例調査(研修)と地域内での話し合い	空家修繕補助
空家対策		人口増施策について地域で考え、市に要望	土地利用に関する規制緩和や企業誘致
地域の人口減少			
文化		地域で地元文化について考える	
地域文化が薄らいでいる			
安全・安心		危険場所の発見・見回り	避難場所・危険箇所の整備
地域防災(自然災害)に不安			
地域産業		企業誘致に向けた地元(地主等)との調整	自然保全型の企業誘致
地域内に働く場が少ない			
通信		利用希望者の把握	通信企業への要望(無線化が進んでいる現状)
高速ブロードバンド化が進んでいない			

【議事：地域の現状と将来を見据えた課題について】

【司会】

内日自治連合会の会長をしています。

先程、基本計画というか、基本的な推進方向についての説明がございましたが、今度は、今からは、地域の現状と将来を見据えた課題として地域課題について、日頃、皆様方が何かのときに頭に浮かんだこういうこと、こんなことでちょっと困った、そんな内容でも何でも結構です。

色々こういう日常頭に浮かんだことを、まずそういうことから出して頂いて、それをまた集約し、それが地域で出来るもの、地域ではなくて、これは行政にお願いしないとできないもの、その辺の分類まで最終的にはやる訳でございますが、まずそういう課題を一つずつ限られた時間ではございますが出してもらって進めていきたいと思えます。

それでは地域の現状と将来を見据えた課題について、ということでまず地域の課題を皆様に出して頂きたいので、発言をよろしくお願い致します。

挙手によりご指名をさせていただきながら、進めていきたいと思えますので、どうぞよろしくお願い致します。座って司会の方をさせていただきます。はいどうぞ。

【市民】

企業組合うつい工房から参加しました。

私は、こういう会議に、内日地区でデイサービス業をされている方、内日には3軒ほどあるのですが、そういう方にも是非、出席して頂いて、その施設の現状もお話を聞くと、内日地区を活性化するための、何かいい意見が聞けるのではないかと常々思っております。

今後の会議には、是非、そういった仕事をされている方にも出席して頂きたいと思っております。

【司会】

やはり、社協の関係であれば、そういう所は一般事業所ですから、やはり難しいのではないかと思います、その辺の検討をよろしくお願いします。社会福祉団体の場合ということで。

【市】

まちづくり集会は、来年度もやり方を変えて行いますが、それはこの内日地区の中で、今、言われたそういう方々も参加された方が良いとなれば、それはもう自由に相談されて決めて頂いて構いません。

【司会】

分かりました。別に市が、こういう団体は駄目だとか、そういうことは無い訳ですか。他にどなたかいませんか。どうぞお願いします。

【市民】

現在、子供の数も少なくなっているの、この内日地区にも空き家が相当数あるのではないかと、民生委員で空き家バンクを始めたかどうかと考えています。

内日地区まちづくり集会（H25.9.28 開催）

山口市阿東地区では、空き家バンクを行っていて、これが成功しているそうなので、10月に私たち民生委員8名で、そこへ研修に行こうと考えています。

そこで聞いてきた色々な情報を元に、内日地区の空き家が利用できれば、転入者も増え、結果的に子どもの数が増えれば良いなと思って計画しています。

それが可能かどうか、内日地区で同じような取り組みが可能かどうか、私も阿東地区の話聞いてみないと分かりませんが、かねがねそのような事を考えていました。

先般、その様子がテレビ放映されていまして、ちょうど良い機会かと思って、10月の半ば頃には、皆で研修に行く予定にしている訳です。

そこで、そういった事が内日地区で可能かどうか、皆さん方にもお尋ねしたいということです。

【司会】

分かりました。ありがとうございます。他に何か。

【市民】

今日はお世話になります。先程、内日地区の歴史について発言されましたが、内日地区の文化とは何だろうかというものを考えてみてはどうかと思います。

それと今、和飾りとか、お宮のしめ縄ですが、そういった物の作り方などを若い方に継承する力、引き継ぐようなことを考えて頂けたらという風に思いました。

【司会】

他にありませんか。はい。どうぞお願いします。

【市民】

内日長寿会です。

今、国を上げて防災が叫ばれております。内日地区でも、是非、防災についてやらなきゃいけない個所があります。

先程から話を聞いておきますと、お金の掛る事は置いておくというような空気がございます。

こうした防災に関する会議は、50年前から、内日地区の寺井集落に坪井学級というのがあって、その目的は治山と治安と治水です。これについて、内日地区は将来的に行政と一体となってやるとしていただけたのです。

内日の活性化について話し合う、このような会議ができて、いつの間にか、少し進んだ段階で消えてしまう。

これではいけないということで、今度は、学校の方からコミュニティ・スクールとか、市民協働の参画とか、小中の一貫校とか、そこまではいつもいくのです。

しかし、これにお金がかかるとなると、全て市の上層部から、待てという事になるのです。

私が言いたいのは、今、防災というものは本当に必要なもので、市は、防災事項を具体的にどの程度までやろうと考えているのかということです。

市長が、先頭に立ってやっていくという気構えであるとか、そういうものを教えて頂かないと、何か意見があれば言って下さいというだけでは進まない訳です。

実際に、宮の前でも、以前、川が氾濫して1人死亡が出ましたが、県も、複数の死者が

出ないと本腰にならない。

現在、私は宮本集落に住んでいますが、その上に防災ダムが1億6,700万円かけて新設されました。防災ダムの上は、県の公造林が5ヘクタールあり、杉ばかりが植えられています。

皆さん方も、日本全国を回って見られたら分かると思いますが、こんな所まで杉が植えられているのかと思うほど、全部が人工造林です。

国の政策の失敗というのは、原発の建設と人工造林です。これは、もう必然的にダメだと分かっているのに、やっているような状態です。

山口県内でも、あれだけ災害が発生していますが、その対策が遅々として進んでいない訳です。

だから、内日地区の人口は、50年前には3,400人でしたが、今は1,300人となって、その当時の有権者は1,300人と、現在の内日の人口と同じでした。

現在は、人口1,300人のうち、1,000人が有権者です。

だから、これから一番必要となるのは若い子ども達です。

子どもの意見とか、子ども育ち方とか、子どもの感性を養っていかなければ、発展はないです。

だから、そうした事をもう少しやっつけていかないと、こんな地区を回って、こんなまちづくり集会だとかをやっても、ある程度まではできますが、あと3年もしたら、私たち高齢者の命は無いかも分からない。

ですから、やはり年代別に、この内日地区が一番やらないといけない防災計画や、そういったものを、具体的に、集落や自治会を通じてアンケートを取るとか、これはこうした方が良いのではないかとか、これはどのぐらいの金が掛るだろうとか、そうした具体的なものを、とりあえずまとめてから、こうした会に持っていかないと実績が上がらないと思います。以上です。

【司会】

ありがとうございます。他に何かありませんか。どうぞ。

【市民】

今日は、「にこにこ市場」の代表という形で参加させて頂いています。

自治連合会長を務めさせて頂いた際には、皆さん、大変お世話になりました。

今、色々と意見が出ておりますが、特に内日の場合、今までずっと、私が連合会長の時でも、常に一番の課題となるのが人口減少ですが、これは内日に限った課題ではなく、どこの地区も同じような状態です。

だけど、内日の場合は、やはり地理的に何か対策をすれば、それほど人口減少にはならなくて済んだのではなかろうかと思っていて、今からでも、随分とチャンスがあるのではないかと、そういう可能性があるのが内日だと思います。

例えば、内日は、行き止まりの村や町という訳でもありませんし、内日を縦断する県道は、1日1万台以上もの車が走っています。

そのため、これまでずっと行政に何とかして欲しいと思っていて、とにかく人口が増え

ていかない事には、どうにもならないという事で、色々な事で、自治会からも、例えば、市営住宅の誘致であるとか、市街化調整区域の一部緩和であるとか、色々な事をずっと要求してきましたけど、最終的に市からは、そのことについての反応が一切ないといえますか、反応はありますけど、これを改善するという形のものは一切ありませんでした。

そういう中で、最近、内日がやっと市街化調整区域から外れ、非線引きになりました。非線引きといっても、内日の全地域は、全て農業振興地域です。

そういう中で、土地利用については、全くの岩盤地形でどうにもならないというのが現状です。

これはもう、市長も何とかしたいという意向はあるようですが、現実にはこれは法律ですから、実際には、県に何としてもやって頂かないといけません。

内日は、こういう中にあるということ、これは非常に残念ですが、自治連合会長の時に身に染みて分かりました。

そういう中で、先般、ここの公民館3階で、都市計画に関する説明会がありました。

これは地区計画と言いまして、ご承知の皆さん方には、各家庭にチラシが回りましたから見ておられると思います。

6町の河原を中心に、堀の内を含めて、この周囲が新たに全体の地域から色塗りがされました。色塗りがされましたけど、なぜかというところ、そこには将来、工場のような、例えば、表現が悪いですけど住民に迷惑になるような工場とか、パチンコ店とか、そういった施設は作れないというような形のものでした。

その説明会で、私が市に質問したのは、今まで市街化調整区域であったものから、色塗りが変わった中で、今後、農振地域の除外はどうなるのだろうかとお聞きしましたら、それは全く変わらないと即座に言われました。

ただ、市の方でも、農振地域の一部除外への皆さんの気持ちは良く理解できるので、その事は、農政の担当課、農業委員会にお伝えしておきますが、全く変わらないということと言われました。

そういう中で、これは私の思いですけど、今、内日長寿会の方から、民生委員の立場で、災害防災のことなどについてお話がありましたが、この件は、本当に言われた通りです。

しかし、私たちが子どもの頃から、「内日は良いところだ、内日は良いところだ」と、ずっと長老が言ってきたのを聞いていました。

内日の良いところとは何かというと、両方の山に守られているので、他に比べて非常に災害が少ないという、そういったことを随分聞いてきました。

そういう中で、やはり私は自分なりの考えで、自治連合会長の時、一部の方とお話しましたが、やはり人口増加のためには、内日という立地を活かした企業誘致、これ以外に無い気がします。

それも例えば、木屋川工業団地のように20ヘクタールとか30ヘクタールとか、そういう大きなものではなくて、3ヘクタールとか5ヘクタールでまとまった所で、最近のハイテクの企業というのは、塩害も無い、内日のような所を一番に望む訳です。

同時に、内日は、市の中心市街地に非常に近いといった、色々な面で立地条件が揃って

おります。

その辺をしっかりと私は要望して、それ以外に例えば、今は内日で声が上がらなくなりましたが、集落排水事業、下水道の事業の話もありました。

今は、個人で合併槽もかなり設置されましたから、その話も下火になりましたけど、これも確実に、人口を増やすためには、やはり下水道事業が必要です。

このために今、集落排水をやってくれといっても、絶対にこれは100パーセント無理な話であるので、やはり、そういった団地的な企業でも立地されれば、当然、必然的に下水道の事業の必要性も出てきます。

そういう中で、こういった企業誘致というような形のを、今から先、考えていく中で、人口増加を図るという方法は、どうかということを、皆さん方にも提案していきたい。そういう意味合いでお話をしました。

【司会】

ありがとうございます。時間もかなり経過しましたが、その他ありませんか。

【市民】

私は、自治連合会の副会長をしています。

先ほど、農事組合法人うついの里の代表理事が言われたように、働く場所というのは、私も前々からずっと話をしてきました。

ただ、先程の農振地域の問題というのは、相当あるということを言いましたけども、この集落全体を見ていくと、山手というのは、ほとんど雑草が生えて、何も開発されていないような地域がいっぱいあります。

可能であれば、そういった場所に環境を阻害しない工場誘致と申しますか、こういうのは、私も農事組合法人うついの里の代表理事と同じような考えですけども、是非とも導入して欲しいと思います。

そのためには、当然、人・物・金というのが必要になってきますので、そういう事に対して、行政がどのような援助と言いますか、工場誘致など、そういうものをするために手を差し伸べてくれるかどうか。ここが以前から不明です。

それと、私たちがやっぱり一緒にやらないといけないのは、どのような工場用地だったら駄目だとかいうのを、本当に真剣になって検討する「場」というのを設けて、やっぱり工場が立地されれば、人も来るし、下水道、公共施設、インフラ整備というのが相当進んできます。

この前、集会があったときに、なぜ整備が進まないのかと聞きましたら、内日に住んでも、極端な事を言えば、子どもが少ないので、学校に行ってもクラブ活動が出来ないので、できれば新下関周辺で生活をして、子どもを育てていきたい言われた方が何人かおられました。

やはり、ここに人が住むことによって、子どもの数も増えるでしょうし、それから色々な人も増えてくるでしょう。

ですから、やはり人づくりというより、人を増やす政策というのをどうやっていくのか。一番良いのは、やはり工場誘致かなと思います。

工場誘致された後は、色々な企業とといいますか、例えば散髪屋さんであるとか、商店であるとかが出来て、人も増えて来るでしょう。

とにかく、企業誘致を我々と行政とが一緒になって、進めていくべきじゃないかと思えます。

【司会】

ありがとうございます。もう5分ばかりでも、皆さん方ご意見があるかと思いますが。

【市民】

スポーツ振興会です。

この会議とは関係ないかもしれませんが、ちょっと部長にお尋ねしたいと思います
去年、内日でタウンミーティングが行われ、資料3にも、当日出された質問などが書かれています、その後の対応といいますか、これがどういう形で検討されたか。

恐らく、検討されていないのではないかと思うのですが、どういう形で、私たちに回答したのか。

私たちは、その事に対する市からの回答を、全く見聞きしていませんので、これをどういう風にしようと考えているのか、ということ聞いてみたいと思うのですが。

【市】

よろしいですか。タウンミーティングの意見の集約につきましては、これは回答が必要だというようなものにつきましては、広報広聴課を通じて関係課にお伝えし、それぞれの部署から回答している、という形になっていると思います。ですが、もしかしたら、その中で回答がまだされていないものもあるかもしれませんが、そういう形になっております。

【市民】

皆さん方、全員に行き渡ったかどうか分かりませんが、私は回答を貰いました。

【市民】

タウンミーティングを開催した後、その概要というのを、私は市から貰いました。それが自治連合会だけに送られたものでしょうか。

【市民】

私も、回答を貰いました。

【市民】

それでは、市からの回答があったのですが、今後、市はこれについて、どの様にされて行くのか、というのが見えないと思うのです。これからどうしても、例えば一番下、その他の欄に、通信についてADSLしか利用できないと書かれてある。光ファイバーケーブルの整備を進めて欲しいという要望ですが、これは無理だということで市の対策は終わりなのですか。

【市】

すいません。光ファイバーのお話というのは、実は、他の地域からも結構、頂いている内容ですが、実のところ、これを進めるということになると、NTTが一番になります。

その要望と言いますか、NTTに対して進めて頂けませんかというお話は、実のところ、市は行っているのですが、NTTの方から要するに出来ないという回答を得ているの

だろう、というふうに考えております。

ですので、すみませんが、公共がこのインフラ整備をやっているという事では無いので、状況としては、今お話しをしたようなところでございます。

【司会】

この件については、私の聞いたところによると、予算も無いので、需要が少ない所はやらないということです。

私たち自治会がやることは、電波の公共性ということにして、県議会議員や市議会議員も、もろ手を挙げて、内日地区に光ファイバーケーブルを通します、電波の公共性の面からやらないといけないと言っていました、最終的には、NTTの段階になると、内日は需要率が本当に少ないから、やりませんということで立ち消えになっています。

【市】

どこの部分を行政が公共としてやって、どこの部分を、例えばNTTという民間会社がやるのかという話になるのですが、実のところ、最初の頃は公共がやるというお話もあったのかも分かりませんし、私もよく存じ上げておりません。

ただ、今の光ファイバー網を広げている、敷設しているのは、NTTでございます。

社会情勢の変化という言い方をすると、行政がまた逃げているように感じるかもしれませんが、実は無線LANの状況が随分と向上しています。

スマートフォンとか、テレビも地上デジタルになっています。

ですから、その中継局というのは、例えばauであるとか、ドコモであるとか、沢山各地域に建てたり、地上波のテレビも、無線塔といいますか、中継局が立てられています。そのため、この有線ケーブルを引くというのは、今なかなか、申し訳ないのですが進んでいない、整備が広がっていないというのが現状なのです。

【市民】

今、公共施設には光ファイバーが入っているのですか。

【市】

NTTで入っているのです。

【市民】

しかし、ADSLと比べると早さは大きく違うのではないですか。

【市民】

ADSLと比べると光の方が少し早いですが、ADSLでも不都合はありません。

光ほどでは無いかもしれませんが、私は両方使ったことあるので、そこまでの違いは感じません。

【市】

そうですね。光ファイバーの容量にも関係するかと思いますが、ただ今申し上げたように、結構パソコンというか、多分、光ファイバー網ということになるとパソコンだとかいう話になるのですが、これが無線によるところが結構強くなってきて、要するにスマートフォンでいうとパソコンとほとんど同じ機能を持っていることもあります。どちらかというと整備費用のことを考えてNTTというか、そういうその無線での電波を飛ばすと

いう傾向が、確かに強くなっているのが現状でございます。

【市民】

NTTに関する事ですが、昭和の最後か平成になる頃、私は素人ですが、囲碁が好きなもので、ちょうど職場にその当時、今で言うインターネット。

これだったら全国の誰とでも囲碁が出来るであろうということで、その当時、普通の電話回線を使って、電話会社でそれがきる制度に入った訳です。

そうすると、もうその間はずっと料金がかかって、直ぐに1時間半分も電話料金かかるし、その間は、誰も電話を相手方からかけられないといった問題があった訳です。

その頃、ISDNというような、確か非常に速い回線ができるから、その方を利用して電話とは別にされたらどうか、ということ別のインターネット会社の方が言いますので、個人的に何度もNTTまで行って話をしました。

しかし、セブンイレブンがあるような所には、全国ネットの店舗だから、全てそういったものに繋がなくてはいけないが、内日はダメだと言われました。

現在の回線をつないでくれた会社の方に、内日はこういった状況で、とても不便だとお話したら、その会社からNTTに連絡を入れてみましょうという話になって、そうすると間もなくNTTが早い回線を繋いでくれました。

だから、やはり何かの力関係で、それもどうにかなるのではないですか。

【市】

どうでしょうか。おっしゃられることは現実問題としてあると思います。あると思えますけれども、大変失礼な言い方ですけど、やっぱり需要の問題というのがあって、今のISDN、それから光ファイバーのような、例えば大容量のものを這わせるに、どのくらい敷設費が掛るのかという話なのですが、私もよく覚えていませんが、1キロメートルを這わせるのに億の単位。すみません、5キロメートルが億だったか、良く覚えていないですが、結構、費用としては掛るみたいです。

そう言いながら、需要がどうかという話になると、今も申し上げているように、無線の性能が非常に上がってきているだけに、投資効果が無いというのがあるのかなという風に思います。

ですから、市から要望をさせて頂いて、こういう所からご要望が出ていますというのは、NTTの方に確実に申し上げます。実のところ、そうは言いながら全部が光ファイバーを延長していないのかとなると、実はあります。今でも延長している地域が中にはありますので、必ずしも全く無いという訳ではない。ただ、これからもご要望させて頂きたい。

【司会】

どうも大変ありがとうございます。時間もかなり経過しましたので、この辺で次の課題に移らせてもらいたいのですが。

課題解決や活性化などについて、という事ですので、それでは地域課題の整理ができましたので、一旦、このような理解をして、課題解決や活性化などについて今から10分そこらでございますが、ご意見を頂きたいと思えます。

また、地域の中で、ここまでなら出来るというものが一つ欲しい訳です。それから、行

政でなければこれ以上はできない。行政の力をそれから先は、借りるようになるということでございます。

地域で出来る範囲を、ここまではやれるという事で、全てが地域でできれば、なお良いのですが、その辺でのご意見、皆さんの対応策をお願い致します。

【市民】

まずは、最初にあった福祉団体等の代表者等の出席、これはもちろん、この課題の中に入るかどうかは別として、これはもうこちらの方で決めると。決めることができるということでもあります。

それから、次の空き家の活用、これについては、地域でどこまでできるか。やはりその家主、またはそれに関連した色々な情報等は必要と思います。それが第三者にすぐ貸し出しができるかどうか、その関係をやはり地域ですとすればその地域内で、まず身近な自治会また地域全体での関係等あると思います。その中で、地域内で全てができるのであれば、あとはそれが整えれば、次はそれに対してどうしてもある程度の手も入れなきゃならない。そしたら、これについては、耐震化とか言われておりますが、それらに市からの助成金も少しは頂けないかなということもやはり考えて、そのまま入れる状態かどうかもあると思いますから、その辺で地元、また地域内で出来る範囲をやはり出していただく。そこまで必要だと思います。

それから、内日の文化等の継承についてですが。例えば、先程言われたような和飾りの作り方。また、それを若い人と地域内の方々に継承するための講習会なり会を作ってやるとか。これはもちろん、これもまた併せて、やはり地域内の活性にもつながることと思います。それによる収入があれば、やはり各家庭に対して作っています方には、それなりの報酬といいますか、そういう収入の増加につながるものと考えております。これはこれで、良いのではないかなと思います。

それから防災対策の件でございますが、これはこの中で、防災対策で内日の地域内で出来るものとするれば、まず例えば、危険地域を見出すこと、それから、その対応策でございます。どうしてもこれは、地域でできるのは、その資料集め迄しか出来ないと思います。地域内であれば、また防災に関連して避難場所と、それからそういう避難の建物と言いますか、住宅と公民館等の設置とか。場合によって、その現況では出来ないということになれば、その増築等も必要ではないかと。そこでそういう市からの協力というか、助成はやはりそれなりの助成金を主体とした協力といいますか、助成金がどうしても必要で、全て地元でする訳にはいかないのです。地元でできる範囲は、それから後の活用の関係でできる範囲は、この程度は地元でできるから、それから市の協力をお願いするという方向になるのではないかと考えております。また、今の中でやはり砂防ダム等の関係等、そういう河川だけではなくて危険箇所は色々あると思いますので、その辺の資料収集。これが地元の関係者の出来る事でございます。

それから次の、人口の減少に対する対策。企業誘致をすれば、それなりにこれに伴う地元の努力として、やはり地元の方の仕事も、そこである程度は協力も出来るし、まずこの企業誘致をするためには、どうしても地元でどこまでやるのかとなると、場所的なことも

ある。その地主さんと、またその他必要な対応については、地元はここまではその土地の地主の確定。そして、それに入るための進入道路の整備に関する色々な条件。そして地主との対応等まで出来るかどうか、その辺もやはり難しい所もかなりあると思いますので、それも併せて地元でできる範囲はここまで。また、どこまではできるというところまで、出していくという方向になると思います。それから、最終的に企業誘致になれば、やはり市の公共の方で、事業所の勧誘などはやっていただくそういう方向でいくようになると思います。

最後に、先程から電話回線の関係で、光ファイバー等、これについては先程、大体お話があったようですが、それ以上のことは、やはり相手がいるものだから、地元は、要はこれに対する利用者の希望状況がやはり必要ではないかと思えます。路線として内日は菊川から旧四町の方なり、都市といいますか街の方と、その路線に選定してもらうということが、まず第一ではないかと、そういうふうと考えております。これも相手が出て、色々難しい面もあると思えます。それでまた皆さん方で、補足的なことは私もざっと自分の考えを話した訳でございますので、何かあればどうぞ。

【市民】

今、会長から色々回答というか、どう進んだら良いなというお考えを頂いたのですが、これは、今、この18人で決めて良いことではないと思うのです。やっぱり内日の地区皆に、この会議の内容を全部知らせろとは言いませんけど、やっぱり、こういう会議がありました。どういうことを今からみんなで話し合っていきます。今、多分、内日では色々と考えておかないと手遅れになる事もあると思うのです。それに皆は危機感を持っていると思うので、やっぱり広く、皆に呼びかけること。今、出なかった課題とか、すごい解決策も出るかもしれないし、それを難しいことだけど、やっぱりそういうことを諮っていくのが大事で、とりあえずは、やっぱりこの会議の内容をみんなに知らせることが、大事なのではないかと思えます。

【司会】

これについては、年内にはまだ数回やらなきゃならないことがあります。

これについて、地域の皆に関心を持って頂くことが、まず第一でございます。

この内日の地区で。当面は、やはりこの会は全体会議ではないので、まずはここで傍聴してもらって、色々自分たちで意見を考えて、その後、今度は自治会を通して出してもらうという方法があるのではないかと考えております。

これは次のステップの中で、それを集約するというので、まずここで足がかりが必要だろうということで、この会がある訳でございますので、順次それは進めていけばと思いますがいかがですか。

【市民】

その事について、自治会がそういう仕事をして頂けるのですか。

【司会】

いや、自治会としてではないです。自治会ではありません。

【市民】

しかし、続けるとなると誰かがやはり、全員の中から選ぶのですか。また、この皆に声を掛けるというのは、それはどなたが掛けるのですか。

【司会】

このメンバーは、これにあるように団体ごとの代表が来ておりますが、最終的にはある程度進んだ時点では、この中で討議をすればいい。

【市民】

次に、いつ会議をしますというような、その方向付けを、誰がされるかということをお聞きしているのです。

【司会】

その辺は、また会議をそれぞれ単独でやるのか、または、市の地域支援課といいますか、そちらの方と相談をしながら、これは内日支所長を通して話し合いをして、単独でやれということなら単独で、ここの中でやるという方向になると思います。また地域支援課の方から案を出して頂けると思います。

【市民】

いいですか。以前から内日の幼稚園を保育園型にして欲しいという事で、もう何年も前から言ってきた訳です。しかし、市からは何も返事がありません。今は、こういう風な状況になっているのだとか。

何年も前から要望してきた事であり、それが生徒の減る原因の一つなんですけど、今はどういう風な対策をとっているか。

【司会】

これについては前回、またそれ以前の案件でございますが、この度の内容とちょっと違うのですが、やはりこれもまた、教育委員会と福祉部の関係ですか、市との関係があるのではないかと。

【市民】

そうすると、市では、今どういう風な考えでしょうか。このことについて、何年も前から言っていることについて。

【市】

すいません。今日は全ての分野を代表して出ている訳ではないので、今、言われる教育、福祉の分野が、どの程度まで協議が進んでいるか、大変申し訳ないのですが、分かりかねるところがあります。

ただ、随分前からお出しされているというのは、保育園型という言い方で出されているというのか。保育園になると、例えば保育というふうにかかれないとお預けいただけない。

その部分は、どういう風に出されているのですか。ちょっとそれがよく分からない。

だから、見て頂ける、例えばお爺ちゃん、お婆ちゃんも含めて、保育ができる状態であれば、保育園というのは法的にいうと、今は出来ないのです。それ点はどうですか。

【市民】

だから、小さい子を、遅くまで見てもらえる様な。

【市】

そうすると、多分おっしゃられるのは、幼稚園の中の例えば、延長保育といったお話ですか。

【市民】

今は、昼ぐらいで幼稚園が終わるじゃないですか。

【市】

そうですね。幼稚園は午後2時ぐらいで終わりますので、それを5時、6時までというお話なのかなと。

【市民】

そういう感じですか。

【市】

だから、そうすると、あくまでも幼稚園の中での制度、要するに延長保育という制度になるかと思えます。それを教育がどう答えているのかは分かりませんが、実際問題、一番良いのは、多分、幼保一体型という形になれば良いと思うのです。

ですから、お勤めになられている方で、保育園に預けることが出来るというのなら、保育時間を午後5時くらいまで。これが、またその延長保育で午後6時といった話にもなりますでしょうが。

それと、幼稚園に行かれている子どもさん、これは保育に変えていない訳ですから、2時まで見て頂けるという状態ですから、それぞれ併設されるのが良いかなと思えますけど、要するに合わせて子ども園とよく言いますが、そこがどうか私もわかりませんが、もう一度よくそういう状態で、お返事もいただいてないというのは、よく伝えましょう。

【市民】

どうもありがとうございます。やはり今日の課題は、まずその問題点を出して、ここの地域で何が出来るか。地域で出来ることは、という事で、その辺を分類して行くという事でございますので、やはり地域では何が出来るのかと言われた場合には、例えば何とか学級とか、特別なそういう学級を作って子どもさんの面倒を見る、一つの団体を作る以外にないと、今、私はそう思っておりますけど。

それについて、またあれば何か話の中で進めたら良いのではないかと考えております。また、行政にお願いすることはお願いするので、別の方向でいくと。そういうふうにもう一回お願いします。もうよろしいですか。

今日は、貴重な時間を皆さん方に費やして頂きまして、大変ありがとうございます。私も慣れないものでなかなか思うように、思ったとおりの進め方にはなりません。また勉強しようと思えます。次のことについて、また支所の方、支所長の方と相談しながら進めていきたいと思えますので、その時は、また無理なこと言いますが、よろしくお願い致します。

今日は、ありがとうございました。

【市】

それでは、内日地区のまちづくり集会を終わります。本日は、どうもありがとうございました。